



古くは明治から昭和の前半、映画がモノクロで音がない時代、物語の筋や台詞を語り、観客を笑いと感動の世界に引き込む「活弁士」といわれる話芸の達人が人気を博していた。

平成が終わろうとしている今、その芸を継承している僅かな「活弁士(活動写真弁士)」の中で、異彩を放つ麻生八咫の語り芸を味わう貴重な活弁ライブを開催!!

◆ 活弁は日本独自の話芸です ◆

無声映画

弁士
あそう や た
麻生八咫

活弁キネマライブ in 四街道

「四街道市文化センター」大ホール

2018年

5月20日

千葉県四街道市大日 396 TEL 043-423-1618

(JR 四街道駅北口から徒歩約 15 分)

開場 13:30 / 開演 14:00

活弁士・麻生八咫(あそう やた)

1952年生まれ。独協大学在学中から演劇に傾倒し、卒業後、一人芝居「日傘と剃刀」を日本全国で400回公演する。活弁士、徳川夢声(無声映画時代最盛期に最も人気のあった活弁士)と共に活躍した活弁士・池俊行氏の活弁「坂本龍馬」と感動の出会いにより活弁士となる。'95年伊・パルマ市にて文化庁主催「ジャパン映画フェスティバル」で活弁を公演。'98年活弁界初の文部大臣賞受賞。'04年「埼玉坂本龍馬会」会長就任。'10年豊の国(とよのくに/大分県)「特命かばず大使」就任。現在、娘の麻生子八咫(10歳で弁士デビュー)と共に、活弁芸を未来に継承することを使命とし、劇場公演だけでなく、お寺や学校、世界一周の船上公演など幅広く活躍中。

著書『映画ライブ それが人生』2009年(高木書房) / 朗読CD中島敦作『名人伝 / 山月記』



熱い生命を吹き込む!!

活弁士麻生八咫が
音のないモノクロの世界に

上映作品

◇ 明治維新150年記念 ◇

龍馬 最期のシーンを演じる
阪東妻三郎の迫真の演技が必見!



◆ 楽士
後藤 幸浩
(薩摩琵琶)

坂本龍馬

阪東妻三郎 [主演]

枝正義郎 [監督]

1928年(昭和3年) 40分

無声映画時代における演劇の定番。江戸時代後期の「天保の大飢饉」で農民を救済した国定忠治。「赤城の山も今宵を限り〜」の名セリフ、忠治と子分との別れのシーンが見どころ!



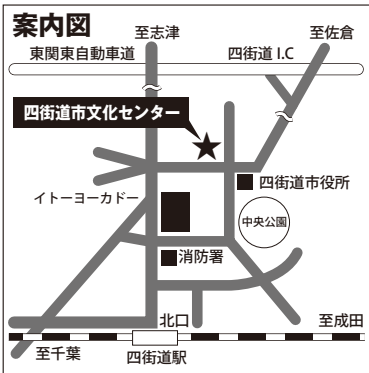
国定忠治

澤田正二郎 [主演]

牧野省三 [監督]

1924年(大正13年) 25分

※声を出す楽しさを体験する
「活弁体験ワークショップ」
もあります!



【JR 四街道駅から】

- 四街道駅北口より徒歩約 15 分
- JR 四街道駅から(バス利用) 四街道駅北口(バス停)
千葉内陸バス
「千代田団地」行き乗車 市役所前下車 徒歩約 3 分
ちばグリーンバス
「京成佐倉駅」行き乗車又は、「田町車庫」行き乗車 市役所前下車 徒歩約 3 分

◎ 入場料: 当日 1,800 円 前売り 1,400 円 ※ 中学生未満無料

★ 4/10 迄に予約申込みをされた方には入場料 1,200 円のチケットを送付します。

お申込みは事務局 FAX043-433-4678 または E-mail: keiyu11@outlook.jp まで

■ 主催・お問合せ / 「活弁キネマライブ」事務局 TEL 070-5571-7955 (丸山) 〒284-0024 千葉県四街道市旭ヶ丘 2-12-10
■ 企画・運営協力 / スコープジャパン株式会社